

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	配水管布設替工事	高崎市	10,400,400	4,400,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称							
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	配水管布設替工事							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		高崎市							
交付金事業実施場所		高崎市上里見町地内							
交付金事業の概要		老朽化した配水管の更新 配水管布設工 HIVP-RRロング形 φ75mm 延長 297.7m 空気弁設置工 1基 付帯工 一式							
総事業費		10,400,400	<table border="1"> <tr> <td>交付金充当額</td> <td>4,400,000</td> </tr> <tr> <td>うち文部科学省分</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち経済産業省分</td> <td>4,400,000</td> </tr> </table>	交付金充当額	4,400,000	うち文部科学省分	0	うち経済産業省分	4,400,000
交付金充当額	4,400,000								
うち文部科学省分	0								
うち経済産業省分	4,400,000								
交付金事業の成果目標		事業計画路線は、以前より水道施設(水道管)が設置されていましたが既設の水道管は塩化ビニル管で口径が30mmとなっています。この管路は、布設年度が不明なほどの老朽管であり、漏水事故が頻繁に発生しております。また、口径が小さいため、地域住民へ安定した水量を供給することができません。そのため、飲料水を安全に安定供給するために、水道管路の耐震化及び口径を大きくし、布設替えを行う必要があります。							
交付金事業の成果指標		今年度事業で水道管を耐震適合管に更新したことにより、事業計画路線L=1.46kmにおける耐震適合率は、58.7%から78.8%となった。耐震化が進み、漏水防止や地震時の被害軽減、増径による水量確保により、飲料水の安定供給が出来ることで、地域住民の定住化促進及び、地域の発展が期待できます。							
交付金事業の成果及び評価		前年度事業までに、0.86kmの水道管布設替えが完了し、事業計画1.46kmのうち、管路の耐震適合率は58.7%まで向上し、飲料水の安定供給が可能となり、地域住民の安全・安心の暮らしが確保された。引き続き、平成28年度事業を行ったことで1.15kmの水道管布設替えが完了し、耐震適合率78.8%を達成することができた。耐震適合率が向上することにより、更なる漏水防止や地震時の被害が最小限に抑えることができる。							
交付金事業の契約の概要									
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方						
配水管布設替		指名競争入札	(株)神保水道設備						
		計	10,400,400						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度						
			H30						

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載